

動物園だより

No.150

(題字 京都市長 門川大作)

平成21年10月1日発行

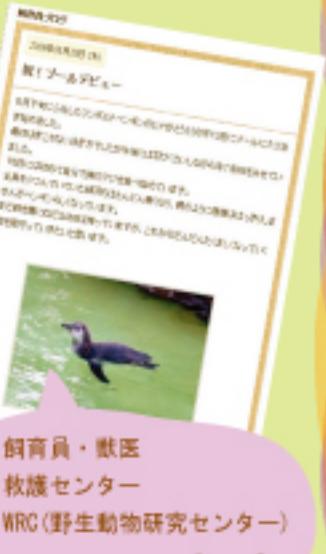
ホームページが 新しくなりました！

キリンタイムズ
動物園だより
壁紙など



最新のニュース
楽しいイベント情報

その他
いろんな情報が
いっぱいです！



飼育員・獣医
救護センター
WRC(野生動物研究センター)
のブログ

できごと

テンの飼育再開！

☆昨年12月にユキ(メス)が亡くなり、テンの飼育を中断していましたが、到津の森公園からホンドテンの若いメスが来園しました。10月中旬頃に展示する予定です。



誕生！

☆7月11日アミメキリンのミライがメスの赤ちゃんを生みました！先日旅立ったリュウオウが生まれたときにくらべ、少し小さく、おっとりした赤ちゃんです。

【7月11日撮影】



☆キリンの赤ちゃんの名前を、一般公募したところ、『音羽(オトワ)』に決まりました！8月23日には、命名式も行われました。

プレゼント

☆今年も果物や魚がいっぱい詰まった、冷たいプレゼントを動物たちにいただきました。暑~い夏の涼しい?ひとときでした。



チンパンジー通信

☆5月21日からチンパンジーたちの勉強が始まっています。パソコンの画面に、バラバラに並んだ数字を小さい順に選ぶ勉強をしています。今では(8月19日現在)ヨウコとスズミが3まで、タカシとコイコが4まで覚えました。みんなの様子はホームページのWRCブログでご覧いただけます。



寄付のお知らせ

ありがとうございました



プロバスクラブ京都様から、擬木製ベンチを
寄贈していただきました。

東門出入口開設!!地下鉄蹴上駅から「徒歩5分」!!

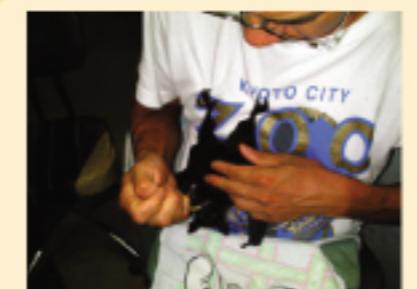
インドオオコウモリ満ちるの 人工哺育折れ線グラフ

コウモリは、生まれてきた赤ちゃんがしっかりママにしがみつかないといけません。満ちるはその力が弱く、母親から離れて地面に落っこちてしまいました…。すぐさま助け出し、人工哺育することに。これは満ちると担当者の奮闘と成長の記録です。

ミルクは、犬用粉ミルクを使
用し、最初はブドウ糖液で溶か
しました。小型動物用の乳首には全然吸いつかず困りましたが、
体を包んでいた布にかじりつい
たことから、そこにミルクを染
み込ませて飲ませるとうまくい
きました。

また、コウモリの元々の体勢
と誤飲を避けるために逆さまで
哺乳しました。

哺乳の工夫



手の中に納まらなくなってきたの
で、Tシャツにしがみつかせて哺乳
しました。力強くなってきてひと安心です。



性別はメスで体重は56.1gでした。
手の中に納まるほど小さく、まだ耳
も垂れいでか弱い感じです。人工
哺育の試行錯誤が始まります。

排泄を促すために、ぬるま湯で
染められたティッシュをお尻にあ
ててマッサージしました。
便の状態を見ながら、お腹の負
担にならないようなミルク濃度の
調整を行いました。

哺乳もしながら、ももジュース
やリンゴの搾り汁一通りおろし
リンゴやバナナのペースト一
回形のリンゴ、バナナやオレンジ
などエサの内容を少しづつ移行
しました。
この辺りから体重がどんどん
増加し、とても活発になって
きました。

脱水!

離乳の準備

5/22 5/30

6/12～

誕生
&人工
哺育
スタート



最初試していた、箱にヒヨコ電球で保温
する方法は、空気の乾燥が激しかったよう
で、満ちるは脱水、生死の淵に追いやって
しまいました…。急きょ哺育器に移し、温
度と湿度を保ちます。

満ちるという名前の由来

満ちるの人工哺育を始める以前にも、何頭か母親の
胸から落っこちてしまったコウモリの赤ちゃんを育て
ようとしたことがありましたが、どの子も数日で死ん
でしまいました。

これらの辛い経験を乗り越え、彼女はしっかり育て
あげたい、「元気と幸せに満ち溢れて育つように」と
願いを込めて「満ちる」と命名しました。



哺乳が完全に終了した頃、体重増加も安定して
きたのと、完全にコウモリの仲間入りをさせるため、初めは昼だけ次に日中だけ、そして、終日他の
コウモリと同居させるようにしました。

人工で育った満ちるはたくさんの仲間に囲まれ
ているのが怖いようでした…。うまくいくのか、
少し心配です。



他のコウモリに囲まれてエサを食べるのが
どうも苦手だった満ちる。栄養失調で、とう
とう倒れてしまい別飼いさせることになりました…。

後肢に麻痺が残り、網にひっかかっている
のがやっとという状態がしばらく続きました。

同居開始



成長と共に、腕を盛んにバタバタさせたり(おそらく飛行の練習)、歯が生えてきたことでなんにでも噛みつくようになりました。そして満ちるの皮ふの健康のために、晴れた暖かい日はなるべく日光浴をさせて外に出ました。

9/23～

2009/3/5

7/17～

担当者から

コウモリでも人間でも、生まれたばかりの赤ちゃんはか弱い存在です。「ほんの少しの失敗が満ちるを死に追いやってしまうかもしれない…」と、なかなか積極的で思い切った判断ができずにいた私でしたが、その時の相棒である先輩飼育員に強く支えてもらいました。共に試行錯誤を繰り返していました。少し(?)過保護で育ててしまったかもしれません、現在満ちるは300gを超えるほどに大きく元気いっぱいに成長しました。

けれど、脱水させたこと、栄養失調にさせたことなど、判断を誤ったことで満ちるを危険な目に遭わせてしまったことは、本当に申し訳なく思うし、また、人の手で育てられたこの子をコウモリの群れに導入することがこんなにも難しいのかと痛感しています。

満ちるの人工哺育が始まっていますから、もうすぐ1年半です。これだけ元気に育ったのは、一緒に奮闘した先輩のおかげであり、また、満ちるの強い生命力のおかげもあるのでしょうか。人工哺育をするという経験はない方が良いのですが、この貴重な経験をさせてもらえて私は前より少しだけ成長できたと思うし、彼女にはとても感謝しています。これからも満ちるを見守っていきたいと思います。

再び同居

5月半ばからコウモリは
日光浴のために屋外の展示
場に移動しました。満ちる
は健康状態も良くなり、星
間の外の気温も高くなっ
てきたので、再び日中だけ同
居させることにしました。

以前の時のように、他の
コウモリにはあまり友好的
ではないのですが、輪の中
にいることには少しずつ慣
れてきているようです。

ZOOスポット 66

今回は、新人飼育員の岡部光太さんにスポットをあててみました。

子供の頃から夢だった職場で働くことになり、刺激的な毎日を過ごしています。

僕が、動物園で働きたいと思うようになったきっかけは、『動物と心を通わせたい』という夢が原点になっています。なにしろ、動物園がとても好きで、動物たちが何を想い、考えているのかということにとても興味がありました。そのため、動物園に自転車で通い詰める日々を過ごしたこともあります。そして当然のように、大学では動物行動学を専攻しました。小さい頃から、自分の持っている飼育員になるという夢は、実現が難しいということは知っていましたが、日本各地の動物園を学生の間にできるかぎり回り、動物園がどういう活動をしているのか、どういう所に力を注いでいるのかということを肌で感じようとしてきました。

そこで出会ったのが、京都市動物園です。僕がこの動物園に惹かれた部分は、施設ではなく人の力が最大限に活かされているところです。僕はその活動ひとつひとつが面白いと思い、実習の受



け入れもお願いしました。

そして夢が現実となり、今ではおとぎの国とレッサーパンダを主に担当しています。

まだまだ半人前で、周りから叱咤激励されている身です。飼育動物、先輩方はもちろん、来園者の方からもいろんなものを吸収したいと考えていますので、よろしくお願いします。これまで見てきた動物園での思い出や、学生時代に得た経験と知識を生かして、来園される多くの皆様に、動物の様々な姿を伝えていきたいと思います。

飼育員のひと工夫！



飼育員が、動物たちや見に来ていただいているお客様のために、いろんな工夫をしているのでぞいてみましょう！

其の6

今回は爬虫類館の紹介です。

本物のヘビの抜け殻！
さわって
確かめよう～

ビルマニシキヘビの
『たまご』のお腹に
うんちがつまってた！

ワニのウンコも
さわって
みよう～



今が旬!!
そんなニュースが
書かれている
飼育員
お手製掲示板～



【ようこそ
レブタイルズ HOUSE】
爬虫類館の仲間たちを
マンガで紹介します！

定期購読を希望される方は、80円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.150

発行所 京都市動物園

京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 Tel 075(771)0210

文化市民局動物園 京都市印刷物 第214379号